

船舶事故調査報告書

平成24年7月12日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成23年3月5日 09時54分ごろ
発生場所	宮城県南三陸町ばなな漁港馬場地区 南三陸町所在のばなな港名足南防波堤灯台から真方位186°825m 付近 (概位 北緯38°42.9′ 東経141°33.6′)
事故調査の経過	平成23年3月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{こうえい} 幸栄丸、0.4トン MG3-46297（漁船登録番号）、個人所有 5.81m(Lr)×1.30m×0.60m、FRP ガソリン機関、30kW（動力漁船登録票による）、平成17年5月27日
乗組員等に関する情報	船長 男性 54歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年6月11日 免許証交付日 平成20年6月16日 (平成26年5月11日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、ばなな漁港中山地区南方の磯場でのふのり採り漁の途中から、同漁港の馬場地区に向かい、同地区を航行中に船長が落水した。 船長が09時54分ごろ落水したのを見た者は、消防署に通報し、消防署が海上保安庁に連絡を行い、ばなな港名足南防波堤灯台南方の海中で沈んでいる船長が発見された。船長は、病院に搬送されて、死亡が確認され、死因は、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、気温 約2.4℃ 海象：海上 平穏、海面水温 約7℃
その他の事項	船長は、ふのり採り漁の経験が2回あり、平成23年では初めての出漁だった。 船長は、これまで馬場地区に入港したことがなかった。 船長は、磯場から馬場地区に向かうことを家族に知らせておらず、磯場から馬場地区に向かった理由は不明であった。

	<p>船長の健康状態は、良好であった。</p> <p>船長は、ふだんは救命胴衣を着用していたが、本事故当時には着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、ばなな漁港の馬場地区を航行中、船長が落水したが、落水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船がばなな漁港の馬場地区を航行中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航行する際には救命胴衣を着用すること。 	